



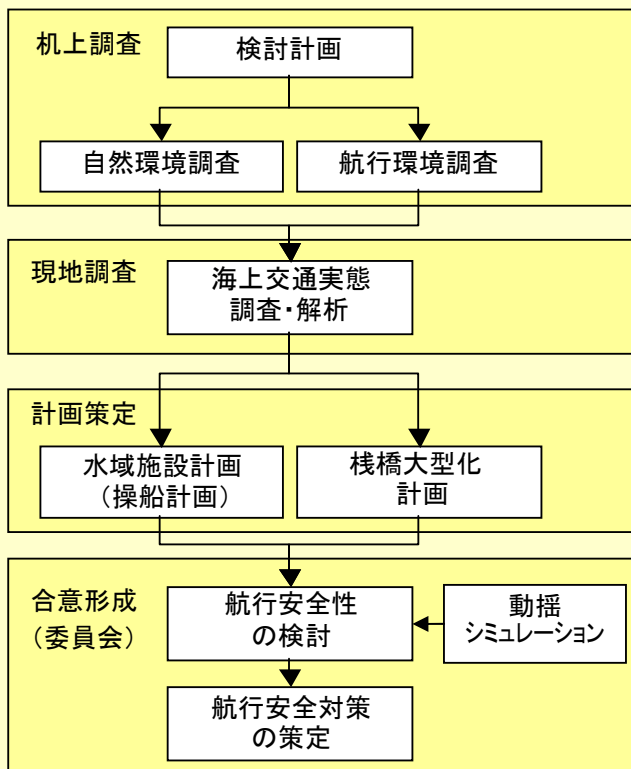
航行安全

近年、原材料や部品等の輸送コストを縮減するため、船舶を大型化して効率化を図るとともに、新しく大型船の接岸可能な岸壁整備が進められています。

一方、船舶の大型化と岸壁の整備がもたらす結果として、港内が狭小となり船舶の輻輳が進むことから、航行船舶の安全確保が重要な課題となっています。

当社は、このような案件に対して、様々な調査を実施し、航行船舶の安全確保を考慮しながら計画実行をサポートします。

主な業務内容



海洋事業に伴い生じる調査・計画・検討についてトータルでサポート・ご提案します。

【調査関連】

- 海上交通実態調査
- レーダー偽像に関する影響調査
- 船舶のマスト高調査

【計画関連】

- 港湾計画変更に係る水域・係留施設計画
- 大型船の受入計画
- 埋立事業計画
- マリーナ等の収容計画
- 工事区域設定等に係る施工計画

【検討・解析関連】

- 上記計画に伴う航行安全性検討
- 船舶の係留時における安定検討
(動揺シミュレーション)
- 船舶の航行実態に関する解析
(AISデータ)
- 工事実施に係る安全マニュアル作成

航行安全検討(委員会)が必要な標準事例

【事業計画関連】

- 港湾計画の変更(改訂・一部変更規模)
- 埋立事業計画
(港湾区域内及び交通量の多い海域)
- 架橋事業計画
(河口部等交通量の少ない箇所を除く)
- 新規大型船バース計画
- 受入船型の大型化
(バース強度、水域施設に影響のない軽微なものを除く)
- マリーナ計画
(収容隻数の多い大規模マリーナ計画)

【工事関連】

- 埋立工事(港湾区域内)
- 架橋工事
- 航路浚渫工事
(交通量の多い主要航路上)
- 海上工作物設置工事
(交通量の多い海域)

【その他】

- 夜間荷役開始
- 夜間入出港開始
- 利用転換(危険物バースへの変更)

	業 務 実 績
--	---------

分野	主な業務	年度
航行安全	A 社ドック拡張に係る航行安全検討	H18 年度
	B 社内航 LNG 輸送基地計画に係る航行安全検討	H19 年度
	C 社蒸気タービン海上輸送に係る航行安全検討	H19 年度
	D 社専用棧橋改良に係る航行安全検討	H20 年度
	E 社船舶大型化に係る航行安全検討	H21 年度
	F 社埋立工事に係る航行安全検討	H21 年度
	G 社 LNG 大型船受入に伴う航行安全検討	H21 年度
	H 社 LNG 基地大型船受入に伴う航行安全検討	H23 年度
	大竹港石炭船大型化航行安全検討	H24 年度
	I 社鉱石船大型化に伴う航行安全検討	H25 年度
	J 社シーバース入出港に係る航行安全検討	H26 年度
	K 社専用埠頭計画変更に係る航行安全検討	H26 年度
	南陽航路暫定利用船舶大型化に伴う航行安全検討	H26 年度
検討・解析	L 社専用棧橋着棧時の安全性検討	H21 年度
	倉敷航空障害灯設置に係る航路標識影響検討	H22 年度
	H 社 LNG 基地船体動揺シミュレーション検討	H23 年度
	宇部港における AIS 航跡調査	H24 年度
	G 社 LNG 船受入に伴うタグボート隻数検討	H25・26 年度
計画	M 社海上工事安全マニュアル作成	H19 年度
	バルク貨物効率的・効果的輸送に係る社会実験	H22 年度
調査	J 社入出港に係る海上交通実態調査	H26 年度
その他	G 社潮流予報表作成	H20・25 年度

総合コンサルタントの強みを生かし、あらゆる分野にすばやく対応します。
 まずは下記窓口までお気軽にご相談ください。



中電技術コンサルタント株式会社
 Chuden Engineering Consultants



〒734-8510 広島市南区出汐二丁目 3-30

沿岸整備部 海域計画グループ

TEL : 082-256-3351